



情報を集めましょう

体験活動センターわたらせでは、渡良瀬遊水地内の野鳥の写真などにより、情報を得ることができます。

また、野鳥図鑑や野鳥ガイドブック（1冊110円）なども販売しています。



体験活動センターわたらせ

開館時間 9:30～16:00

TEL 080-8818-9381

休館日 月曜日（祝日の場合翌日）、年末年始（12/29～1/3）



渡良瀬遊水地・谷中湖周辺の利用

期間	利用時間	利用できない日
3/1～10/31	9:30～17:00	毎週月曜日及び年末年始（12/29～1/3）
11/1～11/30	9:30～16:30	※月曜日が祝日の場合は翌日、月・火曜日と祝日の場合はその翌日が利用できません。
12/1～2/末日	9:30～16:00	※洪水の前後も利用できない場合があります。

野鳥観察会も開催しています。

観察会の情報はこちら

アクリメーション
振興財団HP



ムクドリのおぐら入り

制作：栃木市 2026年 3月

監修・写真：渡良瀬遊水地野鳥観察会

問合せ：栃木市渡良瀬遊水地課 0282-62-1301

栃木市
ハートランドweb



ハートランド 野鳥観察マップ



- 1 西赤麻橋
- 2 東赤麻橋
- 3 石川橋
- 4 西谷中橋
- 5 谷中橋
- 6 東谷中橋
- 7 野渡橋
- 8 下宮橋
- 9 新赤麻橋



わたらせナイツ

凡	例
堤防	一般道
車両通行可能道路	水路
歩行通行可能道路	No 観察ポイント

★ ゴミは持ち帰りましょう ★

4 ウォッチングタワー

ヨシゴイ、チュウビ、
シジュウカラ、オオジュリン

5 ゴルフ場南

オオヨシキリ、コヨシキリ、
ヨシゴイ、ハイロチュウビ、
チュウビ、オオセッカ、セッカ、
サンカノゴイ、コウノトリ

6 ゴルフ場沿い

オオヨシキリ、チュウビ、
コチョウゲンボウ、セッカ、
ホオジロ、サンカノゴイ

7 池内水路

コガモ、ヨシガモ、ミコアイサ、
ハシビロガモ、ダイサギ、
アオサギ、オオバン、カワセミ、
アオアシシギ、コウノトリ

8 第2排水門

チュウビ、ハイロチュウビ、
ノスリ、ミサゴ、ハヤブサ、
チョウゲンボウ

9 鷹見台

ハイロチュウビ、チュウビ、
コミズク、コチョウゲンボウ、
オオタカ、ノスリ、ミサゴ、
チョウゲンボウ、コウノトリ

10 第3調節池越流堤付近

ノスリ、オオタカ、ハイタカ

11 湿地再生試験地

サシバ、チュウビ、コウノトリ、
コミズク、ミサゴ

12 第3調節池巴波川堤防付近

サシバ、チュウビ、
ハイロチュウビ、コミズク、
コチョウゲンボウ、ハヤブサ、
ミサゴ

1 第1排水門南駐車場

コアジサシ、チョウゲンボウ

2 野鳥観察台

チュウビ、ミコアイサ、タゲリ
カワアイサ、カモ類、
カンムリカイツブリ、カワセミ、
ミサゴ、ハヤブサ、オオタカ、
コウノトリ、コアジサシ

3 史跡保全ゾーン

オオヨシキリ、ツツドリ、
ジョウビタキ、ムクドリ、
ベニマシコ、シジュウカラ



もちぞう

ドルア

クララと子供たち



ラムサール条約登録湿地

渡良瀬遊水地



野鳥観察&
撮影のマナー



栃木市

オオヨシキリ



オオセッカ※



コヨシキリ

渡良瀬遊水地の 野鳥の現状



日本で確認できる野鳥の約半分の272種
4亜種が確認されています。
(2025年7月現在)

そのうちコウノトリ※をはじめとした58種は
国指定の絶滅危惧種です。

春には、ウグイスやヒバリがさえずり、初夏に
は、世界的に貴重なオオセッカ※が繁殖します。
冬にはチュウヒ※やハイロチュウヒ、コミミズ
クなどが確認できます。

近年では、コシアカツバメ、アメリカウ
ズラシギ、メジロガモなど、遊水地での
初確認種が多数出現しています。



コミミズク



タゲリ

※…環境省レッドリスト掲載種



私たちにできること

休息している野鳥を驚かさなよう、静かに
観察しましょう。

野鳥の生態や特性を知ることが大切です。

野鳥のみならず、他の利用者や車両に気を
配りましょう。

やさしい気持ちを持って、渡良瀬遊水地
のあるがままの自然を楽しみましょう。

様々な生き物が生きていける環境を守るこ
との大切さを意識しましょう



ハイロチュウヒ

○コウノトリの見守りについて

渡良瀬遊水地内には、コウノトリの人工巣塔が3基
(栃木市2基、小山市1基)あります。特に2月から7月
はコウノトリの繁殖期で、この時期に人が近づくと巢
作りや子育てに影響を与えることがありますので優
しく見守りましょう。

※小山市区域ではドローン等の飛行が条例により禁止
されています。栃木市区域でも自粛をお願いします。



ライブカメラでも見守りができます。



巣には近づかないように しましょう



子育ての時期などは親鳥はとても神経質になっ
ています。人が近づくことにより、ヒナへの給餌
(きゅうじ)をやめてしまったりすることがあります。

特に、コウノトリの人工巣塔やオオセッカの繁殖
地及びチュウヒのねぐらには近づかないようにし
ましょう。



エサやりなどはやめましょう

人からエサをもらったりすると、野鳥本来が持つ
エサをとる能力をなくすことになります。

また、渡良瀬遊水地の豊かな生態系を乱すこと
になります。あるがままの自然の姿を楽しみましょう。



場所選びに気を付けましょう

誰よりも良い場所で観察したい！撮影したい！
気持ちはわかりますが、他の利用者の通行の
邪魔になるような場所はやめましょう。

立入禁止区域には入らないようにしましょう。

駐車に関しては、歩行者や自転車の妨げにならない
ように駐車してください。また他の車両に配慮し、
通行スペースを空けて止めるようにしてください。

地域住民の迷惑にならないよう十分に配慮して
駐車してください。



撮影でストロボの使用は やめましょう



野鳥は警戒心がとても強い動物です。
ストロボなどの人工照明は、強烈な光を放ちます
ので、夜間撮影であっても絶対に避けてください。



インターネットへの 掲載について

珍しい野鳥の観察情報をネットに発信したり
マスコミなどへ提供したりする場合は、その場所に
観察する人が集まり、野鳥の生息に悪影響を与え
ることもあるので、地域での事前相談を行うなど、
十分な配慮をお願いします。(日本野鳥の会より引用)



ゴミは持ち帰りましょう

渡良瀬遊水地の豊かな自然環境を守るため、
動植物の楽園であることが次世代まで続くよう
ゴミは持ち帰りましょう。



お弁当の食べ残し等が
雑食性の生物を増やすことで、
自然のバランスに悪影響を
与えます。責任を持ってゴミ
を始末することは、誰でも
できる自然保護活動です。
(日本野鳥の会より引用)